

Books of the Month

今月の本



対話でリカバリーを支える
ストレングスモデル
実践活用術
Web 動画付 第2版

著：萱間真美
発行：医学書院
定価：2420 円
(本体 2200 円+税 10%)

ストレングスモデルは個人がもつ強みや希望，その人を取り巻く環境の強みに着目し，ケアの資源として活かす支援方法。ストレングス・マッピングシートは対話を通じて，当事者のストレングスをともに見出すためのツール。ストレングスモデルを学びながら，著者オリジナルのマッピングシートを使った対話の様子を Web 動画で確認しよう。



教材づくりガイダンス
看護現場と学習者を
つなげる応用伝授

編集：池西静江，石束佳子
発行：医学書院
定価：2970 円
(本体 2700 円+税 10%)

授業づくりの肝は「教材」にある。教員自らの心に残る感動を覚えた看護実践や，臨地実習で関わった学生のきらりと光る看護実践は看護の本質を伝えるよい「教材」になる。そう意図したベテラン教員たちが臨床知を結集した，看護教員の強みを最大限に活かす教材づくりのためのガイドブック。学生の心を動かす授業をしたい教員必携。



看護のための
授業づくりガイド
Web 付録付

著：服部律子，任和子
発行：医学書院
定価：2750 円
(本体 2500 円+税 10%)

本書は，初めて授業をする看護教員の「こんなときどうすればいいのか」「何かいい方法はないか」という疑問に答えられる手引書。30 の Question とその答えを「授業設計」「授業方法」「評価方法」「改善方法」に分けてわかりやすく解説する。Web 付録の動画と資料も活用しながら，授業づくりを見直しブラッシュアップできる。



君はどんな看護師に
なるのだろう

多様な価値観と向き合う，
これからの看護師に必要な
知識と教養

編著：高橋優三
著：岡本華枝，宮田靖志，
藤野ユリ子，内藤知佐子
発行：医学書院
定価：2420 円
(本体 2200 円+税 10%)

本書の目的は，漫画を読むことで医療現場を疑似体験し，起こっている問題に気づき，解決策を自らの力で考えること。看護業務，教育・研究，進路・キャリア，患者理解，チーム医療，医療体制・制度ごとに問題が提示され，その解決策を考える。実習前の看護学生，新人看護師，学生・新人を指導する看護教員，指導者の必読書。



あらゆることは 今起こる

著：柴崎友香
発行：医学書院
定価：2200 円
(本体 2000 円+税 10%)

ADHD と診断された小説家は、薬を飲むと「36 年ぶりに目が覚めた」。私の体の中には複数の時間が流れている。眠い、疲れる、固まる、話が飛ぶ……。自分の内側でいったい何が起きているのか。「私は困っている」「他人の体はわからない」「伝えることは難しい」「世界は豊かで濃密だ」と、著者の世界は言葉化されていく。

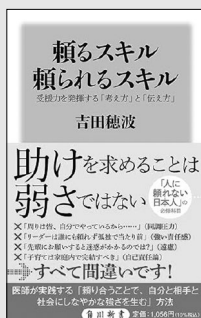


安全に狂う方法

アディクションから
掴みとったこと

著：赤坂真理
発行：医学書院
定価：2200 円
(本体 2000 円+税 10%)

「あなたには、安全に狂う必要が、あります」。人を殺すか自殺するしかない時まで追い込まれた著者に、セラピストは毅然と言った。生きづらさの底にアディクションはあるが、著者には「アディクション=依存症」ではなく、心の取り扱い方を知り、世界と折り合うためのセルフ緩和ケア。自他の経験を見つめアディクションを探索する。

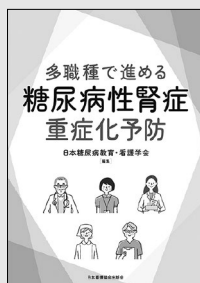


頼るスキル 頼られるスキル

受援力を発揮する
「考え方」と「伝え方」

著：吉田穂波
発行：KADOKAWA
定価：1056 円
(本体 960 円+税 10%)

日本人は人に頼ることが苦手である。しかし著者はいう。人に頼ることは恥ずかしいことでも弱さでもなく、助けを求める力（受援力）は課題解決能力であり、社会人にとって最も必要な能力の 1 つであると。頼ることで窮地を救われ、仕事の幅が広がり、職場の風通しもよくなる。若手にも上司世代にもあう受援力のスキルが得られる書。



多職種で進める 糖尿病性腎症 重症化予防

編集：日本糖尿病教育・看護学会
発行：日本看護協会出版会
定価：3850 円
(本体 3500 円+税 10%)

糖尿病性腎症（以下、腎症）は透析導入の原因疾患のトップで、新規透析導入の約 40% を占めている。腎症の重症化を予防するには、多職種連携による早期からの患者支援と治療が重要である。本書では、患者が病状を理解し、セルフケアを続けることを目標にした支援のための各職種の役割を示し、患者の状況に合わせた具体的な支援を解説する。